

## はじめに

東日本大震災により、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また被災された皆様には心よりお見舞い申しあげます。

平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災は、わが国ではこれまでに類を見ない規模の地震であり、さらに大津波による未曾有の災害をもたらしたことは、終世忘れることができない出来事となりました。

今回のような大きな「地震・津波」の自然の力に人間は勝つことができないことが証明されました。

大地震による津波には、まず何を差し置いても高台に逃げる。これが現地、先人の「言い伝え」でありました。しかし長い時間の経過と経済の発展でその「言い伝え」が薄れてしまいました。今後はこの教訓を忘れることなく後世の方々に受け継いでいかなければいけないと考えます。

J L P AではL P ガス設備の被害状況について被災された方々にお話を聞き、また専門家の方々の意見をお聞きして、平時の心構え、緊急対応時の初動対応、被災後の復旧対応そして復旧にあたり規制緩和等、行政に対する要望、各メーカー及び検査事業者への提言を「絆」にまとめました。今後「地震・津波」の対応での「減災」のお役にたてていただければ幸いと考えます。

一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会  
技術委員会委員長 東島 泰祐

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波及びその後も大きな規模の余震が断続的に多発している東日本大震災は、まだ収束していない状況であります。

私たちは、従来のデーターの最高値が、今後発生するMAXの数値ではないことの、自然災害の脅威を今回いやと言うほど知らされました。また、地震に伴って発生した東京電力福島原子力発電所の事故処理もいまだに収束するどころか、どの機関のどの情報がより正しい対処方法に適っているか判断できない状況にあります。

このたび、一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会、合同委員会及び特別技術委員会が中心となって、L P ガス関連設備の東日本大震災後の事実に基づいた被災及び対応状況を具体的な記録と課題を半年以上かけて収集し本冊子にまとめました。

遠くない時期に発生が予想されている自然災害に対する対応策の一つに是非お役立ていただきたいと考えております。

一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会  
検査事業者委員会委員長 白砂 啓司